
sangetsu

サンゲツ CSロールスクリーン 交換スクリーン

取扱説明書 NO.SA-CS2503

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくためによくお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

目次

■ 安全上のご注意	P. 2
■ スクリーンの取外し方法	P. 4
■ スクリーンの交換方法	P. 5
■ 操作方法	P. 6
■ 操作部復旧方法	P. 7
■ スクリーン巻きずれ対処方法	P. 8
■ お困りのときは	P. 9
■ お手入れ方法	
■ 梱包材の処理方法	
■ メンテナンスシール	P. 10

安全上のご注意 (必ずおまもりください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

- 本書では、表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意 (取付け前に必ずお読みください)



警告

- ⊘ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取り付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は、必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- ⊘ 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。
- ⊘ 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。
- ❗ 製品は、水平に取り付けてください。
- ⊘ セットバーをつかんで製品を持つのはおやめください。故障の原因となります。



■ 使用上のご注意 (ご使用前に必ずお読みください)

警告

- オーバーラン操作（スクリーンを一番下まで下ろした後に更に同じ方向へ操作を続ける事）を行うと、スクリーンの巻きずれなどの昇降不具合や、製品の落下による事故の恐れがありますので、絶対におやめください。

- 子供は思わぬ行動を取ります。大人の常識は通用しません。子供をチェーンで遊ばせないようにご注意ください。

- チェーンが体にまきついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

- 小さなお子様がいるご家族では、スクリーンのチェーンの近くにソファやベッドを置かないでください。ソファやベッドに上がれば手が届き、事故の恐れがあります。



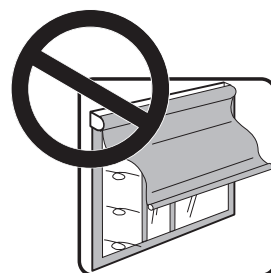
注意

- ! 製品は決められた製品高さの範囲でご使用ください。範囲以上でご使用になると、スクリーン及びその他部品の落下、破損の原因になります。

- 開閉操作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。



- 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを巻き上げた状態にしてください。



- 火のそばでの使用は絶対におやめください。



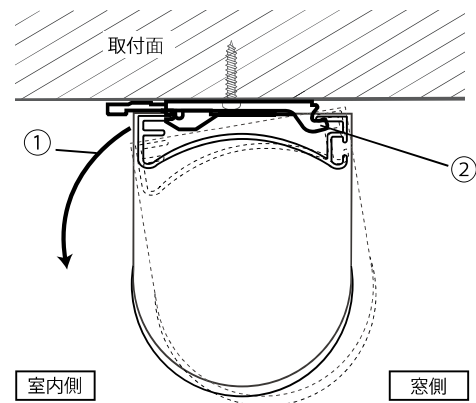
- メカ部分の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。

- ! 加湿器は製品から離してご使用ください。製品近くで加湿器を使用しますと、水道水のミネラル成分等が白い粉となり、製品に付着して動作不良等の原因となる場合があります。

■製品本体の取外し方法

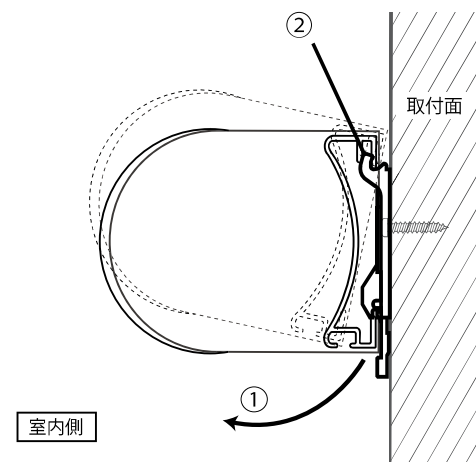
〈天井付けの場合〉

- ①解除ボタンを押しながら、本体を手前下方向に下げてください。
- ②本体(セットバーの上溝)をブラケットの仮止めフックから外してください



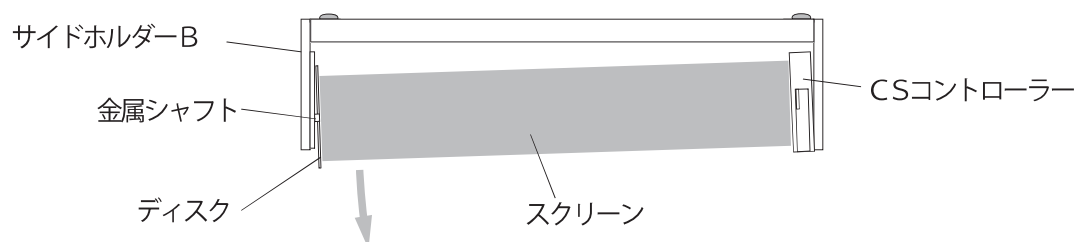
〈正面付けの場合〉

- ①解除ボタンを押しながら、本体を手前上方向に上げてください。
- ②本体(セットバーの上溝)をブラケットの仮止めフックから外してください



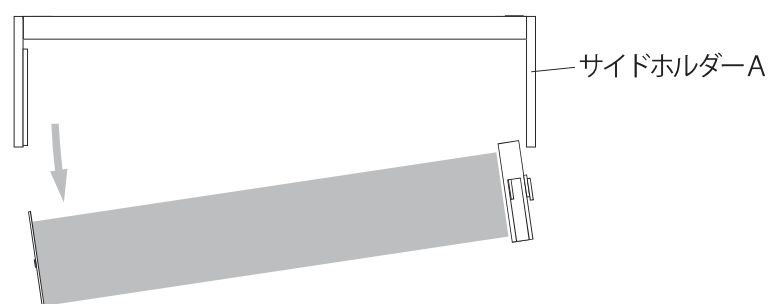
■スクリーンの取外し方法

- ①スクリーンを上まで巻き上げます。
- ②パイプエンドのディスクを回転させ、金属シャフトを格納します。
スクリーン(ローラーパイプ、CSコントローラー、パイプエンド装着状態)をサイドホルダーBから外します。



※図はCSエンドレスチェーンを外した状態ですが、CSエンドレスチェーンを装着したままでも切り換えが可能です。

- ③ 順にスクリーン(ローラーパイプ、CSコントローラー、パイプエンド装着状態)をサイドホルダーAから外します。



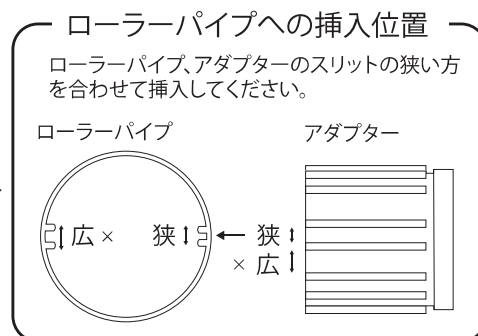
スクリーンの交換方法

■ スクリーンの交換方法

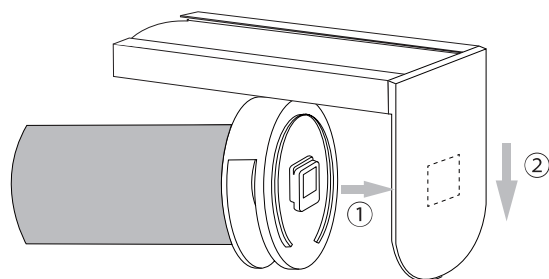
- ① 交換スクリーンをお手元にご準備ください。
交換スクリーンはローラーパイプ・ウエイトバーが装着された状態となります。
- ② 取外した既存のスクリーンから、CSコントローラー、パイプエンド（共にアダプター含む）をスクリーン（ローラーパイプ・ウエイトバーが装着状態）から引き抜きます。



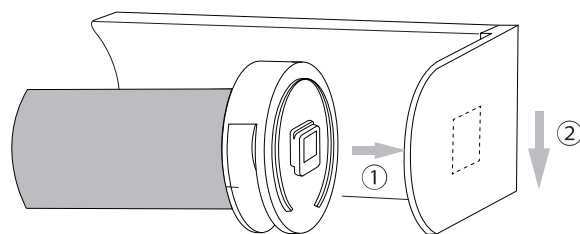
- ③ 取外したスクリーンと同じ向きに交換スクリーンを置き、CSコントローラー、パイプエンド（共にアダプター含む）を差し込みます。



- ④ セットバー・スクリーンを天井付け・正面付けのセットしたい向きに合わせ、CSコントローラー突起をサイドホルダーAの四角い穴に嵌め込みます。
嵌め込み後、突起物の溝がサイドホルダーAとかみ合うように、CSコントローラーを下方向に"カチッ"と音がするまで押し込みます。

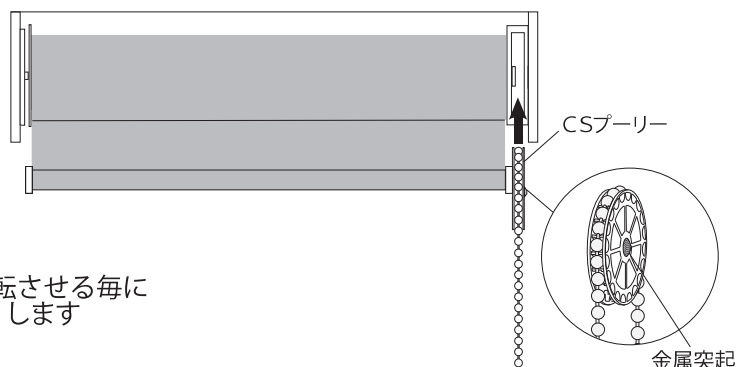
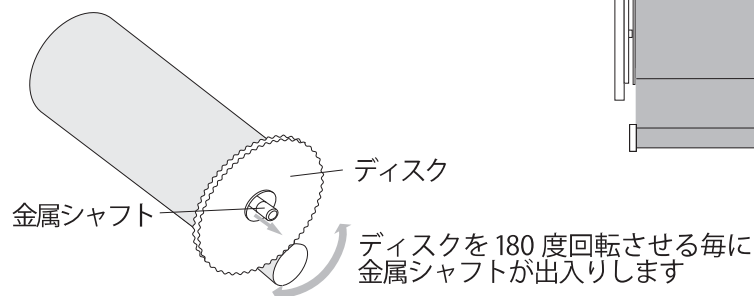


〈天井付けの場合〉



〈正面付けの場合〉

- ⑤ スクリーン（ローラーパイプ、CSコントローラー、パイプエンド装着状態）をサイドホルダーBの固定位置に合わせ、パイプエンドのディスクを回転させて、金属シャフトを復帰させスクリーンを固定します。CSプーリー、CSエンドレスチェーン、チェーンウエイトを外している場合は、復旧してください。



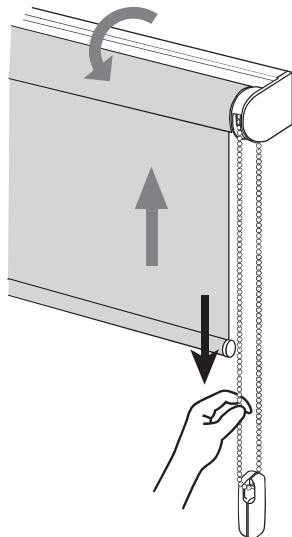
- ⑥ スクリーンの昇降を行い、動作に問題がないことをご確認ください。（P.6「操作方法」参照）

操作方法

■スクリーンの上げ方

手前(室内側)のチェーンを下に引き下げます。

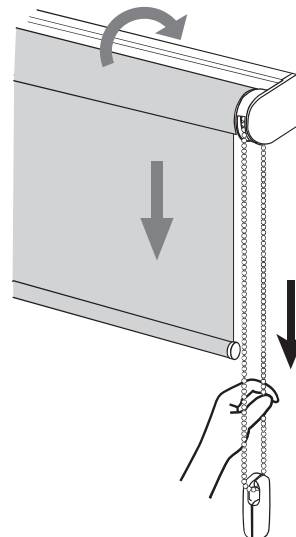
●途中で止める場合
チェーンを下に引くのを止めるとそこで止まります。



■スクリーンの下ろし方

奥(室外側)のチェーンを下に引き下げます。

●途中で止める場合
チェーンを下に引くのを止めるとそこで止まります。

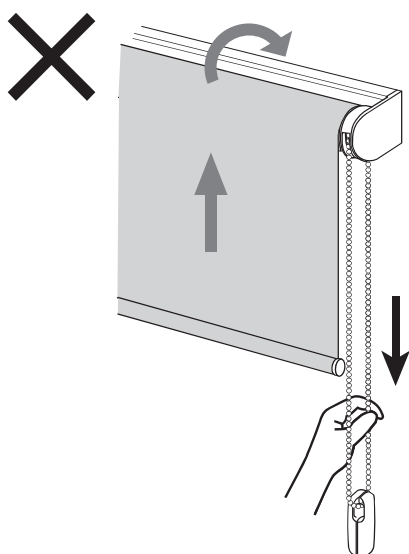


⚠ 警告

- ⊘ オーバーラン操作(スクリーンを一番下まで下ろした後にさらに同じ方向へ操作を続ける事)を行うと、スクリーンの巻きずれなどの昇降不具合や製品の落下による事故の恐れがありますので、絶対におやめください。

※ローラーパイプの これ以上引き続けしないでください シールが目印です。

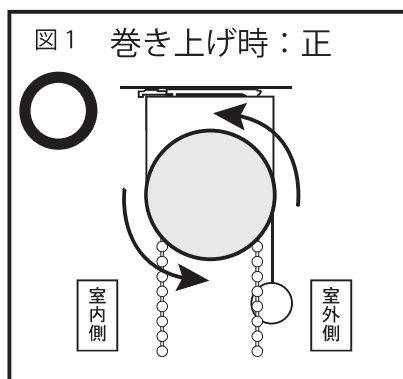
【誤った操作方法 (オーバーラン)】



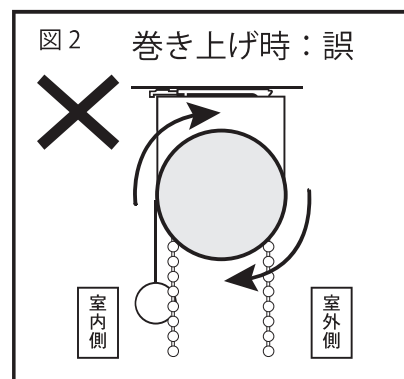
奥(室外側)のチェーンを下に引き下げた時にスクリーンが上がる状態は誤った操作です。この状態になった場合、手前(室内側)のチェーンを下に引き続ける事で正常な状態に戻ります。

■ 右側面図

巻き上げ時のスクリーンとローラーパイプの回転



生地：室外側
回転：反時計回り



生地：室内側
回転：時計回り

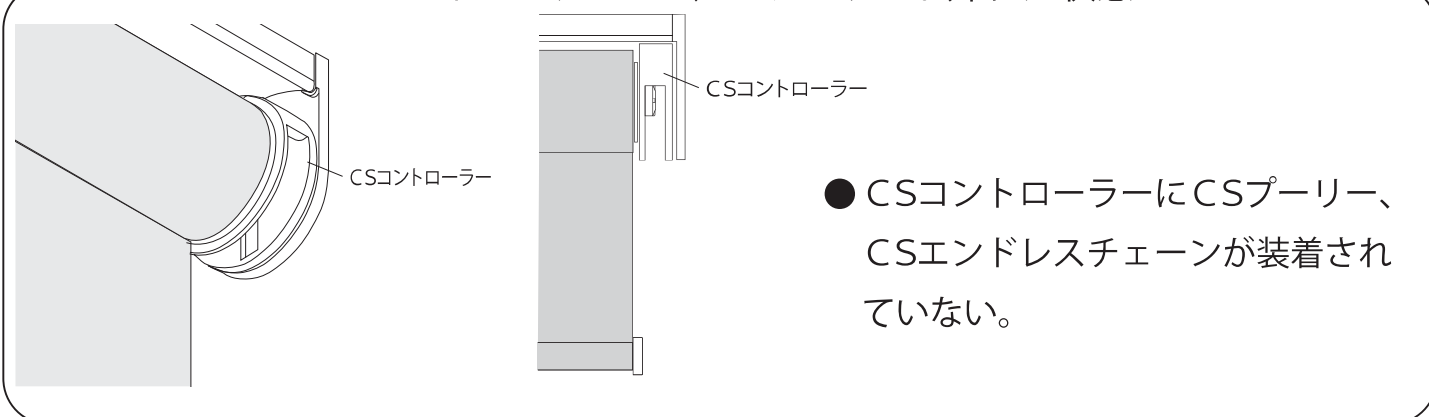
※逆巻き仕様Bタイプ・Cタイプの場合は操作するチェーン(手前・奥)が逆になります。

スクリーンの交換中に操作部が外れた際は、下記をお読みいただき復旧を行ってください。

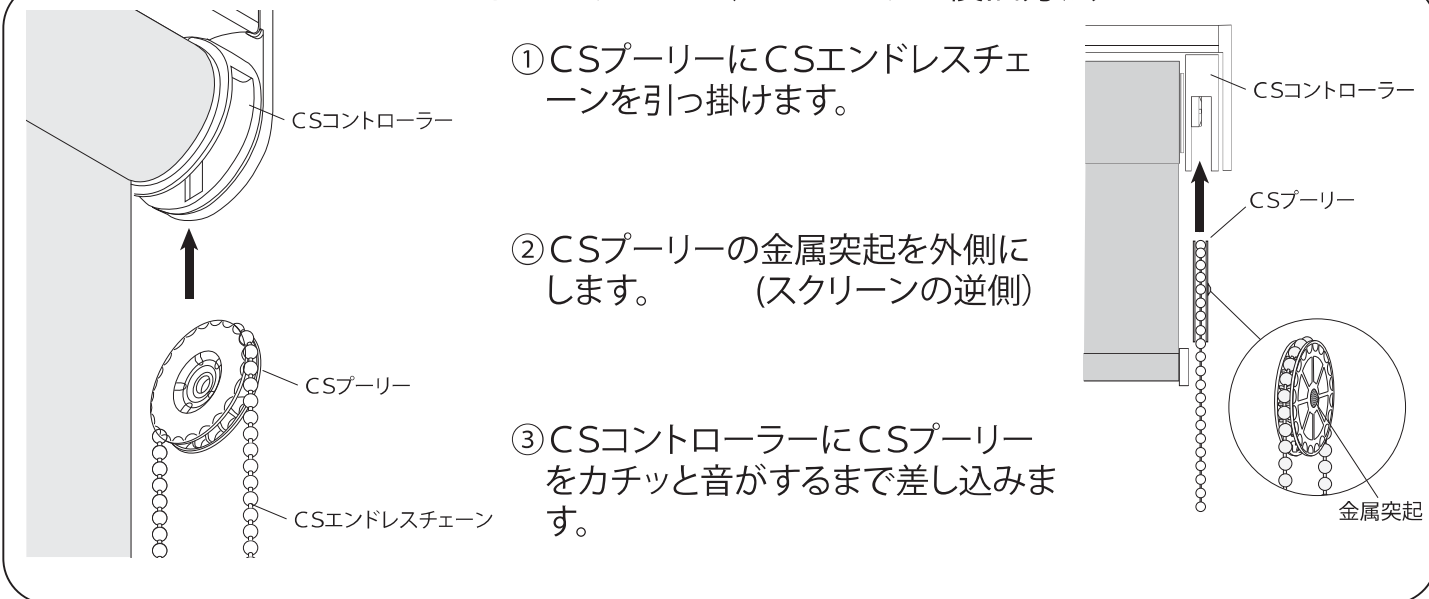
●CSエンドレスチェーン復旧方法

安全上の対策のため、CSエンドレスチェーンに下方向6kg(±1%)以上の負荷がかかるとCSプーリーがCSコントローラーから外れる仕組みとなっております。外れた場合は下記にしたがって操作部の復旧を行ってください。

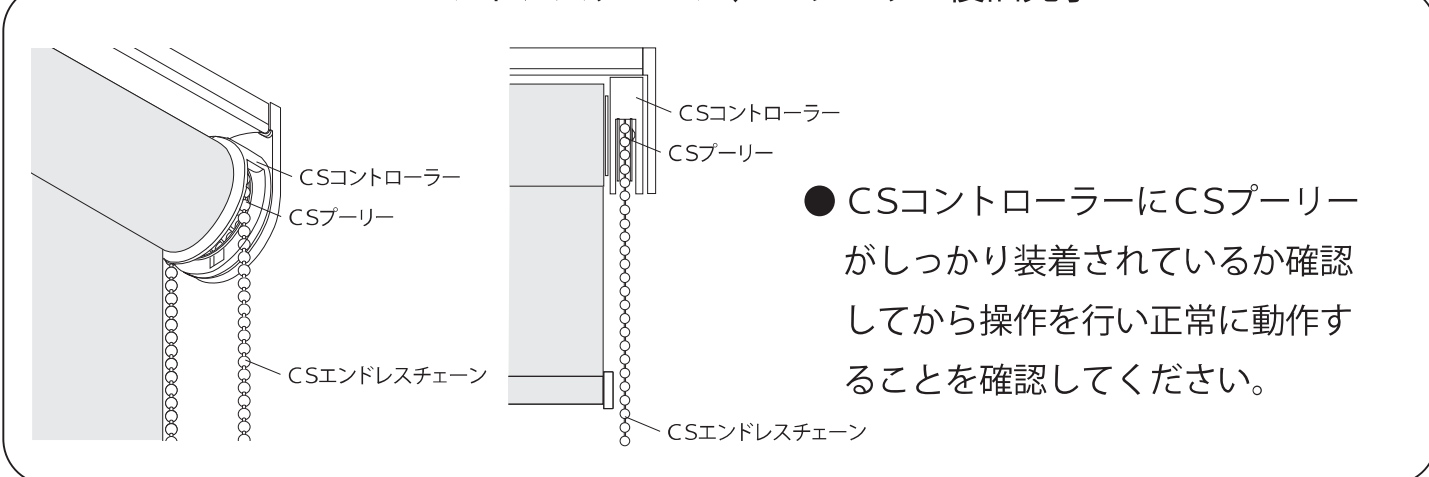
CSエンドレスチェーン、CSプーリーが外れた状態



CSエンドレスチェーン、CSプーリー復旧方法



CSエンドレスチェーン、CSプーリー復旧完了

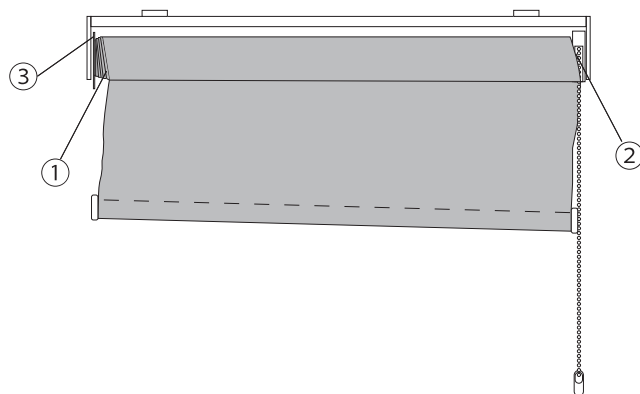


スクリーン巻きずれ対処方法

- スクリーンが巻きずれていると、スクリーンを昇降できなくなったり、スクリーンが破損（しね、生地のはつれ、やぶれ等）する恐れがあります。出荷時に調整をしておりますが、取付け場所の関係等により、巻きずれが発生した場合は、以下の手順で巻きずれを補正してください。

〈スクリーンが巻きずれた状態とは？〉

- ① スクリーンが「竹の子」状になる。
- ② スクリーンがコントローラーに当たる。
- ③ 上記の逆側で、パイプエンドのディスクに乗り上げる。

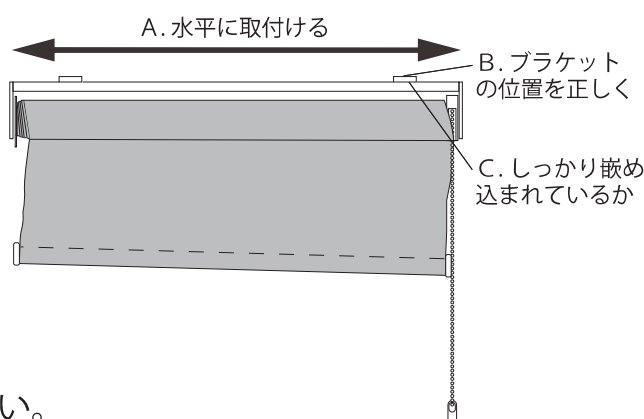


■ 巻きずれの補正方法

- ① まず製品が正しい状態になっているか確認します。

- A. 製品が水平に取付けられているか？
- B. ブラケットが正しい位置に付いているか？
- C. ブラケットがセットバーにしっかり嵌め込まれているか？

※ 正しくない場合は、正しい状態に直してください。



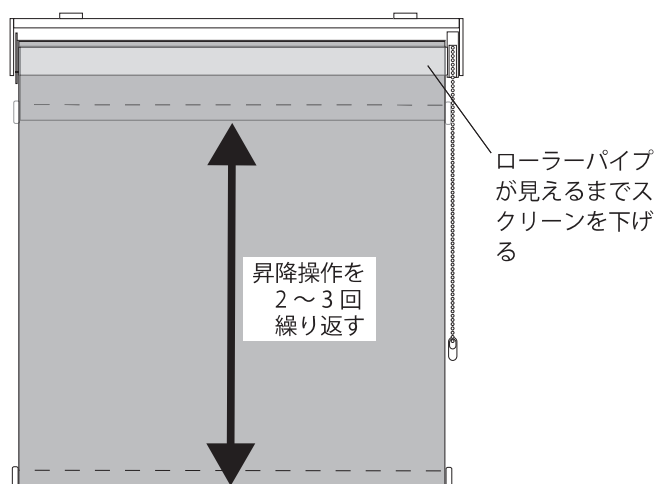
- ② スクリーンを最大まで（ローラーパイプが見えるまで）下げます。

スクリーンを巻き上げてください。

※ オーバーランは絶対にしないでください。
(P.6「操作方法」参照)

- ③ ②の昇降操作を2～3回繰り返してください。
それでも、巻きずれが直らない場合は、右図の様にローラーパイプが見えるまでスクリーンを下げ、付属のスクリーン巻きずれ調整シールを使って巻きずれを直してください。

※ スクリーン巻きずれ調整シールの使用方法是、調整シールの裏面をご覧ください。



Q & A 故障かな?と思ったら

現象	原因	処置
スクリーンが巻き上がる際にコントローラーやパイプエンドのディスクに当たってしまう。(巻きずれてしまう)	製品が水平に取り付いていない。 ブラケットが正しい位置に付いていない。	P.8「スクリーンの巻きずれ対処方法」をご覧ください。
スクリーンが綺麗に巻き上がらない。	スクリーンを一番下まで下げた時にそのままの方向で巻き上げてしまい、オーバーランになっている。	P.6「操作方法」をご覧ください。
チェーンがプーリー(滑車)ごと外れてしまった。	安全対策として一定加重がかかる和外れる仕様になっています。	簡単に復旧できます。 詳しくはP.7「操作部復旧方法」をご覧ください。

お手入れ方法

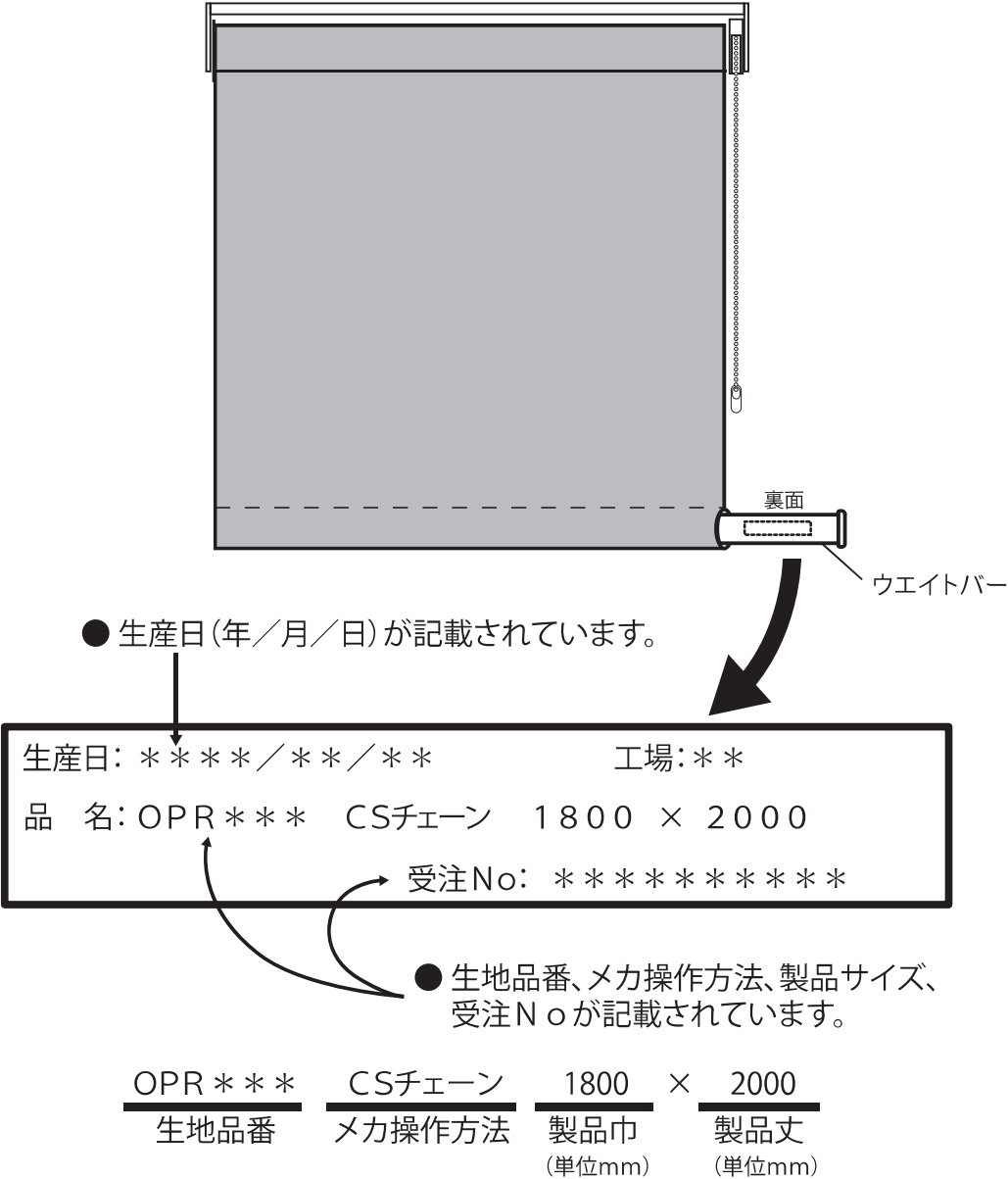
- 日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。
- 水拭きや水のかかる場所でのご使用は、スクリーンが変色する場合がありますので避けてください。
- スクリーンは特殊樹脂加工されていますので折ったり曲げたりするとしわやクセが残りもとに戻らない場合がありますので十分注意してください。
- 生地がほつれた場合は、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準がことなりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

メンテナンスシール

- お買い上げの製品には、ウエイトバー右裏側に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



交換スクリーン発注方法

交換スクリーン(別売)でスクリーンを交換することができます。

上記メンテナンスシールに記載されている生地品番・メカ操作方法・製品サイズ(製品巾、製品丈)をお申し付けください。

